生涯学習活動報告　　目次

タイトル　　ページ

第 33 回 山陽女子短期大学公開講座（2013 年度前期）・・・・・・・・・・・・・・・1

第 33 回 山陽女子短期大学公開講座（2013 年度後期）・・・・・・・・・・・・・・・2

平成 25 生涯学習フェスティバル・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3

平成 25 年度健康食品管理士中国支部第２回研修会・・・・・・・・・・・・・・・・・5

市民講座災害時の食事と栄養（山陽女子短期大学市民講座）・・・・・・・・・・・・6

七福大学（高齢者学級）（佐方市民センター）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・9

地域貢献・地域連携活動報告

地域連携センター生涯学習部門

活動名	第 33 回　山陽女子短期大学公開講座（2013 年度前期）
目的または趣旨	地域住民に生涯学習の機会を提供する。
共催団体名および共催の経緯 (依頼理由)	共同主催：山陽女子短期大学 廿日市市生涯学習推進本部
年･日時~年･日時	2013 年 6 月 1 日（土）～29 日（土）　毎回 13:30～15:00
活動拠点	山陽女子短期大学
参加者 教員（責任者には★） 学生（所属・学年･人数）	全体の責任者：白石地域連携センター長 運営：山陽女子短期大学地域連携センター生涯学習部門 廿日市市教育委員会生涯学習課
活動内容	「山陽女子短期大学創立 50 周年記念特別講座」･「廿日市市市制施行 25 周年記念事業」として開催された。 「健康を考える―食・身体・心理―」を統一テーマとし、全 5 回、外部講師を招いて行われた。 一般参加応募者数：78 名 今回は、学生参加も認めた。
反省・コメント	本学創立 50 周年記念事業、廿日市市市制施行 25 周年記念事業の一環として、特別企画で開催された。受講料は無料とし、学生の参加も促して行われたが、特に混乱もなく運営できた。受講者アンケート結果も概ね好評であった。
添付書類	（有　　無）

地域貢献・地域連携活動報告

地域連携センター生涯学習部門

活動名	第 33 回　山陽女子短期大学公開講座（2013 年度後期）
目的または趣旨	地域住民に生涯学習の機会を提供する。
共催団体名および共催の経緯 (依頼理由)	共同主催：山陽女子短期大学 廿日市市生涯学習推進本部
年･日時~年･日時	2013 年 10 月 26 日（土）～11 月 30 日（土）　毎回 13:30～15:00
活動拠点	山陽女子短期大学
参加者 教員（責任者には★） 学生（所属・学年･人数）	全体の責任者：白石地域連携センター長 運営：山陽女子短期大学地域連携センター生涯学習部門 廿日市市教育委員会生涯学習課
活動内容	「映画への招待―映画から見えるもの―」を統一テーマとし、全 5 回で開催された。 一般参加応募者数：73 名
反省・コメント	近年取り上げていなかった教養・趣味系のテーマを設定したが、欠席率は若干高かったように見受けられた。受講者アンケート結果は概ね好評であったが、一部で厳しい意見もあった。テーマを設定や講師の選定に関して、地域の人々のニーズに応じられるよう、今後も検討を重ねる必要があるようにも思った。
添付書類	(有　　無)

地域貢献・地域連携活動報告

活動名	H25 生涯学習フェスティバル（廿日市市包括的連携協力事業） ・食育 SAT システムを使用した食事バランスチェック ・県内の食材を使ったスイーツ販売
目的または趣旨	廿日市市では毎年 11 月の文化の日前後に、生涯学習活動を実践する場と機会を提供し、生涯学習がより多くの市民へ広がることを目指して、「廿日市市生涯学習フェスティバル」を開催している。そこで本学は、楽しみながら新しいことに触れることができるコーナーとして食育 SAT システムを使用した食事バランスチェックおよび県内の食材を使ったスイーツの販売（レシピも配布）を行う。
共催団体名および共催の経緯 (依頼理由)	共催団体：廿日市市　教育部　生涯学習課からの依頼。
年･日時~年･日時	2013 年 11 月 10 日（日）
活動拠点	廿日市市市役所官舎
参加者 教員（責任者には★） 学生（所属・学年･人数）	教員：★重田教授、西庄助手、中田助手 学生：食物栄養学科　栄養管理コース 2 年生 1 名 食物栄養学科　栄養管理コース 1 年生 4 名 食物栄養学科　栄養調理コース 1 年生 1 名
活動内容	SAT システムによる食事バランスチェックと広島県産の食材を使ったスイーツの販売を行った。学生スタッフとして、食物栄養学科の学生 6 名が参加した。 学生スタッフ 6 名のうち 5 名が 1 年生で、SAT システムを使ったことがない学生がほとんどだったので、最初は戸惑っていたようだが、徐々に慣れて上手く対応できるようになった。　新宮中央公園の方に屋台がたくさん出ていたこともあり、お昼時は閑散としていたが、それ以外の時間帯は人通りも多く、制作したスイーツは 13 時 30 分には完売した。
反省・コメント	全体的に声が小さく、もっと積極的に来場者に声をかけていければ良かったと思う。
添付書類	(有　　無)

山陽女子短期大学

山陽女子
山陽女子短期大学

地域貢献・地域連携活動報告

地域連携センター生涯学習部門

活動名	平成２５年度健康食品管理士中国支部第２回研修会 山陽女子短期大学公開講演会
目的または趣旨	地域住民に生涯学習の機会を提供する。
共催団体名および共催の経緯 (依頼理由)	共同主催：山陽女子短期大学 一般社団法人日本食品安全協会
年･日時~年･日時	2013 年 11 月 16 日（土）　13:00～17:00
活動拠点	山陽女子短期大学
参加者 教員（責任者には★） 学生（所属・学年･人数）	全体の責任者：恵野村明美・林田静枝・谷口菊代 運営：一般社団法人日本食品安全協会
活動内容	一般社団法人日本食品安全協会の健康食品管理士資格更新制度研修会として毎年春と秋の２回中国地区で行っている。講演１として「プレバイオテクス」講師を広島大学大学院生物圏科学研究科准教授鈴木卓弥先生に、講演２として「食物アレルギーの子どもに対する支援―食生活面より―」と題し本学食物栄養学科の准教授の寺岡千恵子先生に、身近な話題として、「食べたら検査値は・・上がる？下がる」を広島大学病院診療支援部の松原朱實さんによる講演であった。 会員参加者数：２３名（岡山大学・山口大学にスカイプにより配信した。廿日市市民参加者１名 ３年学生には受付をお願いした。
反省・コメント	受講料は無料とし、途中山口大学との通信の中断等はあったが、大きな混乱もなく最後まで運営できた。
添付書類	（有　　無）

地域貢献・地域連携活動報告

地域連携センター生涯学習部門

活動名	平成２５年度健康食品管理士中国支部相談会
目的または趣旨	地域住民に健康食品に関する相談の機会を提供する。
共催団体名および共催の経緯(依頼理由)	共同主催：山陽女子短期大学 一般社団法人日本食品安全協会
年･日時~年･日時	2013 年 11 月 16 日（土）　17:00～
活動拠点	山陽女子短期大学
参加者 教員（責任者には★） 学生（所属・学年･人数）	全体の責任者：恵野村明美・林田静枝・谷口菊代（健康食品管理士有資格者） 運営：山陽女子短期大学 一般社団法人日本食品安全協会
活動内容	一般社団法人日本食品安全協会の健康食品管理士資格更新制度研修会として毎年春と秋の２回中国地区で行っている。今回は本学での開催であった。本学臨床検査学科教員に３名の有資格者がおり、研修会は廿日市市民公開研修会としての開催とさせていただき、折角のきかいであり、市民の方で健康食品に関わるご相談を受けさせていただこうと企画致しました。 会員参加者数：２３名（岡山大学・山口大学にスカイプにより配信した。廿日市市民参加者１名 ３年学生には受付をお願いした。
反省・コメント	廿日市市民の方１名が研修会に参加して頂いたが、相談会には来られなかった。チラシは配布したが、もう少し広報活動が必要であった。
添付書類	（有　　無）

地域貢献・地域連携活動報告

学科名　　食物栄養学科

活動名	市民講座災害時の食事と栄養（山陽女子短期大学市民講座）
目的または趣旨	災害時などの非常事態に備えて、日常生活の中で栄養面についても考慮した非常食の準備をするよう、地域住民に広く知っていただく。
共催団体名および共催の経緯 (依頼理由)	廿日市市
年･日時~年･日時	平成 26 年　3 月 16 日（日）13：00～15：00
活動拠点	廿日市市中央市民センター（集会室）
参加者 教員（責任者には★） 学生（所属・学年･人数）	講師　　山崎　初枝（公益法人　広島県栄養士会事業部長） 　　中東　教江 　　参加者　地域住民　　29 名
活動内容	講演 1 部にて備蓄方法、ローリングストックについて、2 部で栄養のバランス、家族構成に合わせた食事内容、備蓄の一覧表などを紹介する。3 部では、備蓄品のサンプルを試食していただき、具体的な商品を見ていただく。
反省・コメント	市民センターは会場作りから、準備が必要で大変あわただしかった。試食のための準備などもあり、1 時間前に行ったが、開演時間にギリギリだった。参加者は年配の方が多かったが、廿日市市役所からや廿日市災害ボランティアの会から、また、若い夫婦連れの参加もあった。この講座に参加した人は､すでに 2/3 の人が非常食を準備しておられ、意識の高い人が多く参加されていた。 どなたも熱心に話を聞いてくださり質問もあったりと、とてもよい講座を開催することができた。
添付書類	(有　　無)

第１部　山崎氏　講演

第２部　中東　講演

会場の様子

試食品

地域貢献・地域連携活動報告

学科名　食物栄養　学科

活動名	七福大学（佐方市民センター：高齢者学級）
目的または趣旨	佐方市民センターでは、市内の高齢者に対して、より健康に生きるための学習を推進している。その活動の一環として、毎月実施している。
共催団体名および共催の経緯 (依頼理由)	所長　東　嘉貴氏 市民センターから短大に講師依頼があった。（H25 年 6 月に佐方自治会の行事参加の一つとして、佐方市民センターが主催する七福大学を 1 回担当することを決めた。）
年･日時~年･日時	2014 年 1 月 16 日（木）（13：30～15：00）
活動拠点	佐方市民センター　大研修室
参加者 教員（責任者には★） 学生（所属・学年･人数）	寺岡千恵子
活動内容	当日、七福大学の参加者は３０名を超える高齢者の方が参加された。 「長寿のための食習慣～おいしく食べて健康自慢～」と題して P.P で映し出して、参加された方には手持ち資料を用いてお話した。
反省・コメント	
添付書類	（有　　無）